

カンパチ種苗生産方法の改良

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 塩澤, 聡, 竹内, 宏行, 廣川, 潤 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014550

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



カンパチ種苗生産方法の改良

塩澤 聡・竹内宏行・廣川 潤

カンパチの種苗生産で生残率の向上を目的に、飼育手法の改良を試み、その効果を検証した。飼育中の大きな減耗は、ふ化から日齢 17 の間と日齢 30 以降にみられたが、前者は通気方法、後者は給餌方法とサイズ選別方法の改良によって、減耗を軽減することができた。特に、給餌方法の改良で全長 15 mm までに仔魚が配合飼料を摂餌するようになり、仔魚への刺激に対する耐性が強くなった。これにより、全長 15 mm でサイズ選別が可能となり、成長差を少なくすることで日齢 30 以降の共食いによる減耗が大きく減少した。その結果、2 回の試験で平均全長 28 mm の種苗を合計 12 万尾取り揚げ、平均生残率は 11.4% となり、従来に比べ約 2 倍に向上した。

栽培技術. 31(1). 11-18. 2003